CO-KREO

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です
わたしたちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

第２号秋季

コクレオてらす

写真：親と子の土曜クラス「そら」での子どもたち

曲がり角の向こうには、きっと最善が待っている　藤田 美保

青い屋根の小さな一軒家を借りて「わくわく子ども学校」が開校してから、17 年目となりました。この間、自分たちで校舎を持ち、本を出版し、認定 NPO 法人となり、ユネスコスクールになり、中学部を開設し、ESD 重点校やハッピースクールになるなんて…　当時は、夢にも思いませんでした。今も、さらに「あんなことしたい」「こんなことできたらいいな」といろいろ妄想する日々ですが、「なぜ、ここまでやってこられたんだろう」と思うことがたまにあります。もちろん「関わってくれるすべての人がいたから」ということではあるのですが、最近はその動きを後押しするエネルギーみたいなものがコクレオの森にあるからではないかと思えています。

開校当初、個性的な子どもたちと、何の積み重ねもない中で、一体全体どうやって学校を創っていったらいいのか途方に暮れて、涙したことがありました。そのとき、代表の辻が私にこう言ったことがあります。「子どもたちを信じて、仲間を信じて、そしてあなた自身を信じて欲しい。そうすれば、自ずと道が開けてくる」。

その日以来、困ったことがあると、この言葉を何度も言い聞かせてきましたが、実は 6、7 年ぐらい前から言い聞かせることがなくなっていました。どうしてなのか考えてみると、私がこの言葉を当然のこととして捉えられている。もっと言えば、「これから、みんなで創っていくミライは、きっと面白い」というミライを信じられるエネルギーみたいなものをコクレオの森で感じているからじゃないかと思っています。

「赤毛のアン」に、こんな言葉があります。「曲がり角の向こうには、何があるかわからないけど、きっと最善が待っていると思うの」。

私が、「大阪に新しい学校を創る会」から「コクレオの森」と共に歩んできた道は、まさにアンが言う通りでした。これからも何があるかわからないけど、きっと最善が待っている。そう信じられることに感謝しつつ、これからの日々もみんなで紡いでいければと思います。

こどもの森

オンラインでスタートした1学期を終えて

新型コロナウイルスの影響を受けて、こどもの森は、オンラインで１学期の学習がスタートしました。試行錯誤の２ヶ月でしたが、家庭での保護者の方のサポートもあり、大きな問題もなくオンライン学習を進めていくことができました。今までにない体験を経て、新たな気づきが得られる機会となりました。

改めて感じたのは対面で関わることの価値です。画面越しに得られる情報はとても限られていて、見られたくないときは、画面オフにすることもできます。普段、子どもの様子を観察しながら関わっているスタッフからすると、これは大きな課題でした。

オンラインで学ぶことで、場所にとらわれず、活動の幅が広がるという良さはあります。帰りのミーティングを公園から参加し、捕まえたばかりの生き物を見せてくれたり、プロジェクトで庭のビオトープ作りをしたりと、今まであまりなかった活動がたくさん起こりました。しかし、画面越しだと、その体験を同じ空間で共有したり、一緒に触ってみたり、作ってみたりする豊かさはありません。対面であることで、できることや深まることがあることに改めて気づかされる経験になりました。

オンライン学習を経て、スタッフの働き方の変化も起こりました。オンライン用アプリケーションの「Zoom」でミーティングをすることにも慣れ、オンラインでのミーティングが日常になりました。また、リモートワーク時のコミュニケーションを促進するために、今までメールでのやりとりが主流だったのですが、Slack という社内 SNS のようなものを取り入れ、組織としても、より柔軟に働ける組織になってきているように思います。

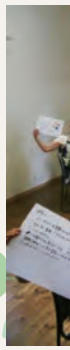
６月からは、登校を開始し、希望者のために補助的にオンラインでのサポートも行いながら、１年生をはじめ、登校を喜ぶ声は多く、やはりいろんな人と関わり合いながら、遊び、学ぶことを求めていたのだと思います。登校が始まってからは、マスクのことについて、３年生から議題があがり、低学年の人たちで話し合い、マスク着脱のタイミングについてまとめ、スタッフに提案するということがありました。

スタッフに言われたからマスクを着用するのではなく、マスクについても、互いに意見を出し合いながら、声をあげるということが起こったのは、民主的でとても頼もしいことだと思います。

今後もいろんな社会の変化が起こると思いますが、元に戻ることを目指すのではなく、柔軟に対応し、新たなこどもの森へと進化していけたらと思います。(矢吹)

こそだての森

森のアトリエ



自然豊かな里山で、たくさんの自分の好きなモノコトとの出会い“発見・つくる”を楽しむ「森のアトリエ」は、小学１年生～４年生の親子を対象に月１回行っています。スタートは今年の１月。火熾し体験、グリーンウッドワーク、宮大工さんにサポートを受けての木工クラフトや川遊びなど、季節の移り変わりを肌で感じながら活動しています。何かを発見したり、好きなコトに集中していると「なにしてるの～」「なに作っているの～」と、共感が広がり模倣や探究が始まる…そんな親子の姿を垣間見てほっこりしたり、地域のお店とのコラボ“里山ランチ”のデリバリーも楽しみの１つです。

前期通年申し込みは終了しましたが、9/26(土)・10/24(土)単発参加募集中です！詳細はコクレオの森 HP・FB をご覧ください。里山でコーヒーを片手にゆったりとした時間を過ごしませんか？(西川)

自分軸をつくろう ～子育てカフェ～

コロナの影響で２回お休みしていた子育てカフェでしたが、５月よりオンラインで再開しました。５月は自粛でたまったストレスを吐き出してもらう回、６月はコロナが子どもの心の成長に与える影響について考える回、７月はものの見方を変える「リフレーミング」という方法を学ぶ回でした。参加者からは「日々のモヤモヤがすっきりした」「子育てで悩んでいたけれど『なんとかなる』と、深呼吸がつけた感じです」「話がわかりやすかった」「自分の自己肯定感があがりました」などの感想をいただきました。

９月からは子どもの自己肯定感を育む基本である、「聴く」「伝える」を中心に、ご一緒に学んでいけたらと思います。自己肯定感がしっかり育まれている子どもは、自ら学ぶ意欲があり、失敗してもめげずに何度もチャレンジでき、人にやさしく思いやりを持って接することができます。人生を切り拓く力を持っています。これからの時代、そんな人こそがきっと幸せに生きていくことでしょう。(守安)

保護者より

オンラインから始まった小学校生活

コロナウイルス感染拡大のなか、長男がオンライン入学式を迎えました。若干寂しかったのは大人だけで、堅苦しい服装が嫌いな彼はくつろいで式に臨んでいました。

学習もまた早速オンラインで始まり、食卓で iPad の Zoom を開く長男の隣で、私は PC に向かいました。春のさわやかな陽気のなか、庭にキャンプテーブルを出して学習に取り組むこともありました。私は仕事ができるのは「ことばかず」の間だけと覚悟して、午後のプロジェクトではしばしば一緒に公園に出かけ、生き物観察をしました。

緊急事態宣言が解除され、６月から登校が始まりました。オンラインで断片的にしか接してこなかった他の子どもたちとの交流に新しい刺激を受け、長男はより積極的に授業に参加するようになりました。送迎で顔を合わせる１年生の保護者の間にも、横のつながりができてきました。

学校の素早いオンライン対応により、余白なく小学校生活を始め学事通りに夏休みを過ごせたことを、スタッフや関係の皆さんに感謝しています。（宮田）

トピック！

地域の学校（府立箕面東高校）とのつながり

2013 年度より、府立箕面東高校の「デュアルシステム」と呼ばれる職業科目で、高校生の実習生を受け入れています。今年も６月より、高校２年生１名が参加されました。

実習生は、はじめは緊張で、子どもたちとの接し方に戸惑うことが多いようですが、一緒に昼食を食べたり、遊んだりする時間を過ごし、関係を深めていきます。こどもの森の人たちの中には、高校生活の様子を尋ねて、憧れの気持ちを抱く人もいるようです。

実習後、同校で発表がありました。そこで、話し合いによってルールを決めることに驚いた、自分の考えを素直に伝える大切さを感じた、自分は変われるんだと気がついた、という声を聞きました。これからも双方の子どもたちにとって、新しい発見の機会になればと思っています。（芳仲ま）

おとなの森

Manabeeプログラム第4期
自分で考え自分で決める ～民主的な学びのつくりかた～

今年の Manabee プログラムはリアル参加（学校に来て参加する）とオンライン参加を募集し、リアルとオンラインの同時進行で開催しました。前半４回の講座として「第一回：being ～存在そのものに価値がある」「第二回：自分の人生は自分でつくる」「第三回：相手を受け止め、自分を伝える」「第四回：つながる時代のはじめの一歩」を７月から８月にかけて実施しました。

講座はそれぞれ、自分が囚われていることを洗い出すワークから自己受容の感覚をつかみ自己肯定感のベースを考える、誰かの“やってみよう”という気持ち（自己決定）に寄り添う時に自分の囚われを手放す、自己決定する人同士として対話し浮揚面（みんなが反対しない案）を考える、その上で生物多様性というテーマで地球と対話する授業案 (ESD) を考える、という内容でした。また、グループワークのファシリテーターとして、Manabee サポーター（過去の Manabee プログラム修了者）にも参加していただきました。

９月からは後半がスタートします。共育プログラムづくり、共育プログラム実施と進んでいき、12 月には報告会が開催されます。どんな報告が聞けるのか、楽しみです。（矢熊）

ミライの森

新しい「ロハスinこどもの森」が開催されます！

「なぜコクレオでロハスイベントをやるのか…？」日本中が自粛の４月、最初の打合せは、この議題から始まりました。「10 月でも例年のような開催は難しいのでは」「オンラインでやってみては」「でもリアルでの開催も諦めたくない」実行委員の中で、それぞれの思いを持ち寄り、意見交換や妄想を繰り返した結果、今年は「ロハスウィーク」という形で挑戦します。初めて、学園のある箕面市小野原を離れ、初日は「森のアトリエ」と連携して川西市黒川からスタート、最終日は講演やワークショップ等をオンラインで、その他、カウントダウン企画も計画中。さぁ、本番はどうなるか。実行委員メンバーもチャレンジしながら準備を進めていきます。（松浦）

こどもの森

自分の“ワクワク”を大切に

「テストで高い点数を取るために勉強していたけど、面白くなかった」というような言葉を中学生から聞きました。そんな子が、自分で学習計画を立てて、自分の力で勉強して学ぶということをやってみたら「勉強の時間が楽しかった」と言ってくれました。同じような勉強でも、それを「自分で決めてやる」のか「やると決まっていたことをやる」のかで大きな違いがあります。

“学ぶと生きるをデザインする”箕面こどもの森学園中学部では、狭い意味での「学力」をつける以前に、まず今の自分が何を学びたいのか、どんなことに興味関心があってワクワクするのか、ということを見つめることを大事にしています。たとえそれがすぐに見つからなくても、そのとき何をやってみるのかを、周りに相談したり、誰かのやりたいことを真似したりしながらでも自分で決めて活動します。悩むこともたくさんありますが、その中で自分の軸を見つけ、それに沿って学び、自分の人生をデザインしています。そこに優劣はありません。それぞれが自分のワクワクを形にして表現し合い、学び合っていきます。卒業する頃には、本当にいろいろな成長を遂げています。それができるのは、テストの点数で他の人と比べて一喜一憂するのではなく、互いを認め合うことができるからだと思います。

今まで３学年 10 名が卒業し、自宅から通える私立高校・全寮制の私立高校・海外の学校・通信制高校、公立高校といったそれぞれの道に進みましたが、共通しているのは「自分の考え」をしっかりと持って未来を切り拓いていったということです。それができるためには、日頃からその日の学びを自分で作っていく、決めていくという小さな積み重ねが大切です。自分のワクワクをエネルギーに、そのような自分軸を作っていくことができる中学部を、これからも一緒に作っていけたらと思います。自分を見つめ、面白いと感じられる学びを作っていきたい人にぜひ入学してほしいと願っています。（佐野）

中学部　新入学・編入学受付中！

９月は見学・体験無料、それ以後も随時入学申込みを受け付けています。

小学６年生・中学１年生・２年生はぜひお問い合わせください。

インフォメーション

こそだての森

『子育てカフェ』

＊ **日程**：10/14(水) 、11/11(水)、12/9(水)
＊ **時間**：10:00 ～ 12:00（Zoom にてオンライン）
＊ **参加**：1 回 1,500 円

お申込みはこちら　⇒

ミライの森

『ロハス in コクレオの森』

開催期間：10/24（土）～ 31（土）

テーマは『つながり』。地域や社会、家族や知人、そして食料や生活環境など、皆様の身近な「つながり」を考える期間にしていただけると幸いです。ご参加お待ちしております。

《編集後記》

会員のみなさま、いつも温かいご支援をありがとうございます。大人も子どもたちも、こういった状況の中、いろいろと工夫しながら過ごしていると思います。慣れないリモート学習や外出制限で夏休みも思うように遊べず・・。そういうときにこそ、新しい何かが生まれてくるように思えてきます。今後ともコクレオの森をよろしくお願い致します。（日置）

発行日：２０２０年９月１５日
発行者：認定NPO法人 コクレオの森

〒562-0032
大阪府箕面市小野原西 6-15-31
TEL&FAX:072-735-7676
メール:info@cokreono-mori.com
URL:https//cokreono-mori.com/